



湾岸・アラビア半島地域ニュース

UAE：仏国との原子力エネルギー協力・仏軍基地に関する覚書の締結

(1月14-15日付ルモンド)

中東を歴訪中のサルコジ仏大統領は、15日、最後の訪問国であるUAEで、原子力エネルギーの協力や、仏軍の常駐基地について覚書を締結した。

1. 仏国とUAEは、400～500名の規模となる仏軍基地をUAEに置くことに合意した。両国の安全保障の協力合意文書は、1995年1月に締結されているが、実現すれば、湾岸諸国において、仏軍の常駐基地となる初めてのケースとなる。
2. 両国はまた、原子力エネルギー協力に関する覚書を締結した。これは、2007年12月のアルジェリア、リビアとの合意に続いて3ヶ国目になる。関係企業は、原子力発電大手のアレバ(Areva)、電気のスエズ(Suez)とトータル(石油)。
3. 仏国は13日、最初の訪問国サウジアラビアでも経済協力に関する覚書を締結した。石油・天然ガス関連で、最大400億ユーロ(約6兆円)に上る模様。なお仏国は14日カタルにおいても天然ガス分野において協力関係の強化を要請した。カタルは、ロシア、イランについて天然ガス埋蔵量で世界第3位であり、仏国は、ロシア、ノルウェー、オランダ、アルジェリアから輸入している天然ガスをカタルから輸入することによってさらなる安定的な供給源として確保したい考えである。